

## 武蔵大学東西文化融合史研究会 第2回例会を開催 「東西の人造人間：古代神話から先端のロボット工学まで」

武蔵大学（東京都練馬区／学長 高橋德行）は、2022年6月に発足した武蔵大学東西文化融合史研究会の第2回例会を12月10日（土）に公開形式で開催します。本会は東西文化の融合の歴史と現況に関する調査研究を行い、学術研究の推進と東西世界の相互理解の深化を目的としています。今回は共通テーマを「東西の人造人間：古代神話から先端のロボット工学まで」と題し、報告者は本学教授の踊共二、上智大学・本学講師の西村恵子、コメントと討論は本学准教授のパトリック・シュウエマーです。参加費は無料でどなたでもご参加いただけます。

### 武蔵大学東西文化融合史研究会 第2回例会の概要

AI（人工知能）搭載のロボットは現代人の生活を大きく変えており、「自動化」がなされている場所では必ずといってよいほど人工知能が活用されています。「自動機械」の製作の夢はじつは古代からあり、中世後期以降の西洋世界ではからくり人形（オートマタ）がさかんに製作されました。そして今やロボットたちが「知能」どころか「こころ」（感情）をもち、また人間とマシンが一体化する未来が予測されています。今回の例会では人工知能と人間の関係を人文・社会科学の立場から論じてきた研究者たちが東西文化の融合ないし相克の視点で AI・ロボットの「現在地」を明らかにします。

#### 概要

- 日時：2022年12月10日(土) 10:00～12:30
- 開催方法：Zoomによるオンライン配信（Zoom参加に係る技術的サポートはございません。）
- 申込締切：12月8日（木）※事前申込制
- お申込み：下記 Web サイトをご覧ください。

[https://www.musashi.ac.jp/sougou/news/copy\\_of\\_research1210.html](https://www.musashi.ac.jp/sougou/news/copy_of_research1210.html)

#### プログラム（以下、敬称略）

##### 10:00～10:10 開会の挨拶

研究会代表 踊 共二（武蔵大学教授）

##### 10:10～11:00 第1報告

踊 共二（武蔵大学教授）「ロボットの東西：機械仕掛けの召使いか人間の共生者か」

##### 11:00～12:00 第2報告

西村 恵子（上智大学・武蔵大学講師）「現代日本の AI・ロボットと倫理：大衆文化と社会的責任」

##### 12:00～12:30 コメントと討論

パトリック・シュウエマー（武蔵大学准教授）

##### 12:30 閉会の挨拶

第3回例会のご案内

#### —研究会に関する問い合わせ先—

武蔵大学運営部研究支援課（事務局） TEL: 03-5984-3735 FAX: 03-5984-3775

#### —報道関係者問い合わせ先—

武蔵大学広報部

TEL: 03-5984-3813 E-mail: [pubq-r@sec.musashi.ac.jp](mailto:pubq-r@sec.musashi.ac.jp)

2022年4月17日、武蔵学園は創立100周年を迎えました

■ **武蔵大学** 日本で初めてリベラルアーツ教育を行った旧制高等学校がルーツ

〔アクセス：西武池袋線「江古田駅」から徒歩6分〕

武蔵大学のルーツは、東武鉄道や東京地下鉄道（現東京メトロ）など多くの鉄道事業に携わり「鉄道王」と呼ばれた根津嘉一郎（初代、1860～1940）が、1922（大正 11）年に私財を投じて創立した日本初の私立七年制の旧制武蔵高等学校。戦後の学制改革により、1948（昭和 23）年4月に新制武蔵高等学校、翌年に新制武蔵大学、新制武蔵中学校が開設され、学校法人根津育英会武蔵学園として現在に至る。一年次から4年間のゼミナール（小規模で対話型の授業を含む）が必修で「ゼミの武蔵」といわれる。

2012年には、外国語や異文化を楽しみながら学ぶことのできる国際村 Musashi Communication Village（通称 MCV）を開設、キャンパス内留学の拠点とした。

2020年3月には、ロンドン大学と武蔵大学とのパラレル・ディグリー・プログラムにおいて初のロンドン大学学位取得者を輩出、グローバル教育の更なる発展に力を注いでいる。

2022年4月、学園創立100周年を迎えるこの年に、新学部となる国際教養学部を開設し、経済、人文、社会、国際教養の4学部9学科となった。

学長 高橋 徳行 〒176-8534 東京都練馬区豊玉上 1-26-1